

番号	製品分類 (選択方式)	使用条件			使用していた 製品名	対象数	代替した 製品名	代替化に当たって検討した事項等
		温度(°C)	圧力(MPa)	薬液				
131	ジョイントシート	130~180	0.2~0.8	蒸気	ニチアスNo.1303	20	ニチアスNo.1804NA	
132	ジョイントシート	180以下	0.9以下	蒸気	V#1501AC	15	V#6500-AC	ガスケット製品の最高使用温度や圧力を参考に、メーカー側の意見を聞き決定した。(6年前から採用している。)
133	ジョイントシート	200~300	1以下	蒸気	V/#1500	50	ニチアス製品	性能、コスト、取扱やさ
134	ジョイントシート	200°C以下	0.8	蒸気、水、空気	T/#1100		T/#1120	加工性
135	ジョイントシート	200以下	1	蒸気、油、水、空気	v#1500	10	v#6501	
136	ジョイントシート	200以下	1	蒸気、油、水、空気	V/#1500	10	V/#6501	
137	ジョイントシート	25~200	0.2~2	多数	V#1500	12,900	V#6500	
138	ジョイントシート	300以上	1	塵ガス	v#1500	0	v#8590	温度検討、渦巻きガスケット選定
139	ジョイントシート	300以上	1	塵熱ガス	V/#1500	0	V/#8590	温度検討、渦巻きガスケット選定
140	ジョイントシート	400以下	1以下	有機物(熱媒)	バルカー #1500	50	ノンアスベスト渦巻きガスケット	特注を要さないメーカー規格品であること。
141	ジョイントシート	50~180	0.2~0.8	蒸気・水・薬液	V#1500	130	V#6506	
142	ジョイントシート	80°C以下	0.5	水	V1500			
143	ジョイントシート	外気	0.1	プロピオン酸クロライド	V#7030	200	V#7030	包みガスケットの内パッキンをV#1500からV#6501に変更
144	ジョイントシート	外気	大気	塩酸	V#7030	150	V#7030	包みガスケットの内パッキンをV#1500からV#6501に変更
145	ジョイントシート	外気	0.1	塩素	V#1500	150	V#7010	耐薬品性
146	ジョイントシート	外気	0.2	苛性	V#1500	50	V#6501	耐薬品性
147	ジョイントシート	外気	大気	トルエン	V#1500	100	V#6501	耐薬品性
148	ジョイントシート	外気	0.2	溶媒		2,500	V#7030	包みガスケットの内パッキンをV#1500からV#6500に変更
149	ジョイントシート	常温	0.9以下	水	V#1500	25	V#6500	ガスケット製品の圧力等を参考に、メーカー側の意見を聞き決定した。
150	ジョイントシート	常温	0.6	水、圧気	V#1500	80	V#6500-AC ノンアス	信頼性、点検頻度
151	ジョイントシート	常温	0.5	圧縮空気	V#1500	160	V#6500	05/7休転で完了
152	ジョイントシート	常温	3	水	バルカー-1500AC	50	バルカー-6500AC	特に無し
153	ジョイントシート	常温~170	0.1~0.7	蒸気、外	バルカー-#1501		ニチアスT/#1120	
154	ジョイントシート					20		予備品を代替材に変更。石綿製品は廃棄済み。(枚)
155	ジョイントシート				V#1500	4,400	V#6500&6501	代替化に伴い実績評価に基づき採用
156	ジョイントシート				V/#1500		V/#5650	耐熱性についてチェック。使用可能な見込み。
157	ジョイントシート				4AG		NSK GC	耐熱性についてチェック。使用可能な見込み。
	ジョイントシート					77,390		
158	その他				T6300	8	L#8950(ヤオアス)	摩擦材でノンアス製品
159	パッキン	300	2		社内製作品	150	クリンシルトップ	
160	バルブグランドシール	30	0.5	酸・アルカリ液	石綿紐	15	V#7233	
161	バルブグランドシール	50	0.3	酸性液	バルカ	150	ゴアテックス品を検討	代替可能か今期定修で一部に使用、テストする。
162	バルブグランドシール	50	1	水・薬液	V#133	56	V#7201	
163	バルブグランドシール	80	0.8	クレオソート油		5		ノンアスベスト仕様のバルブに交換している
164	バルブグランドシール	80	0.8	クレオソート油		2		
165	バルブグランドシール	130	0.2	蒸気	T#9075	15	T#1220	ベローズ型弁に交換(使用1年後に評価予定)
166	バルブグランドシール	150	0.4	蒸気	T#2800	20	V#VF-20L+6267	ベローズ型弁に交換(使用1年後に評価予定)
167	バルブグランドシール	150	0.4	蒸気	不明	1	H2200(T/#2200)	バルブごと更新
168	バルブグランドシール	150	0.6	空気、蒸気、水	—		T/#9039	特別検討する事項無し
169	バルブグランドシール	150	0.5	蒸気、温水		1	テロンファイバーパッキン	
170	バルブグランドシール	164	0.6	蒸気	V/#71330	3,000	V/# VFT-22	メーカー代替品使用
171	バルブグランドシール	170	0.7	蒸気	バルカ133トンボ3300	20	トンボ9039	寿命・価格・作業取り扱い性・シール性(機能)
172	バルブグランドシール	170	0.7	蒸気	バルカ133トンボ3300	1,920	トンボ9039	寿命・価格・作業取り扱い性・シール性(機能)
173	バルブグランドシール	174	0.78	蒸気、圧縮空気	H#350	150	T#2940	メーカー代替品に準拠した

番号	製品分類 (選択方式)	使用条件			使用していた 製品名	対象数	代替した 製品名	代替化に当たって検討した事項 等
		温度(°C)	圧力(MPa)	薬液				
174	バルブグランドシール	180	0.9	蒸気	T#2920	10	T#9038	圧力及び温度
175	バルブグランドシール	180	1.8	珪酸曹達	トムヒート		テフロン ボール	石綿代替化 漏洩防止 自動化
176	バルブグランドシール	200	1.2	蒸気	不明	1	H2200(T/#2200)	バルブごと更新
177	バルブグランドシール	200		スチーム、溶剤、他	#7132、#7137	0	#6201、#7201	耐久性と高温使用に適した物(今後も検討を要す)
178	バルブグランドシール	215	2.1	蒸気	T#2800	10	T#2280	2年の使用実績では問題なし
179	バルブグランドシール	215	2.1	蒸気	T#2800	30	V#VF-20L+6267	ヘローズ型弁に交換(使用1年後に評価予定)
180	バルブグランドシール	220	2	蒸気		15		ノアスベスト仕様のバルブに交換している
181	バルブグランドシール	220	2	蒸気		15		
182	バルブグランドシール	250	4.4	蒸気	T#2800	10	T#2280	2年の使用実績では問題なし
183	バルブグランドシール	250	4.5	蒸気	T#2800	10	V#VF-20L+6267	ヘローズ型弁に交換(使用1年後に評価予定)
184	バルブグランドシール	310	0.188	ダウサムA	P/#316+6610	213	P/#6315+6610	メーカー提示性能 -200~450°C、15.5MPa
185	バルブグランドシール	327		蒸気、水、他	トンボNo. 7110		トンボNo. 9096	試験的に使用して機能・耐久性に優れていることが確認できた。
186	バルブグランドシール	~300	~1	化学液	石綿含有	1,200	非石綿品	温度・圧力要件が厳しくなく非石綿品に移行
187	バルブグランドシール	100~200	0.8	蒸気	KS-10	200	P/#6501L	
188	バルブグランドシール	200以下	1.6以下	蒸気	V#1290	5	chesterton 1724	ガスケット製品の最高使用温度や圧力を参考に、メーカー側の意見を聞き決定した。(6年前から採用している。)
189	バルブグランドシール	300~400	1.8	AH塩/添加剤	P#315	10	P#6315	1年の使用実績にて問題なし
190	バルブグランドシール	300°C	2.0以下		V#1290	20	V#6232	
191	バルブグランドシール	300°C以下			T/#9075		V/#7262	
192	バルブグランドシール	300°C以下	1.35MPa以下	—	日本バルカー No.7137	60	日本バルカーNo.6262	必要シール性を有した汎用品
193	バルブグランドシール	300°C以下	0.6	蒸気、水、原料 など	T/#2300 T/#9075	0	DEPAC 714	平成18年度より代替化実施予定。
194	バルブグランドシール	300以下	2.0以下	蒸気、熱媒油系	ピラー-315,316等	100	ピラー-6315,6711	なし 他メーカー製品 チェスターン1400等
195	バルブグランドシール	35~152	0.2~1.38	フッゲン、フテン、STM	#7133、 #134	2,770	#8133 #8133	使用実績など
196	バルブグランドシール	400以下		油・蒸気		10		バルブ交換時ノアス仕様としている。
197	バルブグランドシール	400以下		油、蒸気		10		
198	バルブグランドシール				V/#133		NSK SF	耐熱性・耐摩耗性についてチェック。使用可能な見込み。
199	バルブパッキン	100	3	溶剤・温水	V7137	500	V8137	
200	バルブパッキン	400	30	熱媒体油・圧油	V7137	250	スタイルNO. 2	
	バルブグランドシール					10,962		
201	ヤン(紐)	400	常圧		アスベストヤン	10	タフマグ	
202	リボンパッキン	400	常圧		アスベストリボン	2	セフティテックス	
203	渦巻きガスケット	20	0.4	スチレン	ニチアスT#1000		ニチアスT#1834-NA	
204	渦巻きガスケット	30	0.3	スチレン	日本バルカーV#596	10	日本バルカーV#8596	
205	渦巻きガスケット	35	0.6	二硫化炭素	T/#1836		T/#1836-NA	
206	渦巻きガスケット	40	0.5	粗スチレン	日本バルカーV#596	50	日本バルカーV#8596	
207	渦巻きガスケット	50	0.5	ベンゼン	日本バルカーV#596	60	日本バルカーV#8596	
208	渦巻きガスケット	60	0.65	硫黄+二硫化炭素	T/#1836		T/#9090-IOR	
209	渦巻きガスケット	80	3.5	タール油	V/#591	6	P/#2603	
210	渦巻きガスケット	80	0.4~1.57	H2	#596	150	#8596	使用実績など
211	渦巻きガスケット	80	3	水素	T#1834R	50	T#1834R-NA	ガスケット係数差異確認 1年の使用実績にて問題なし
212	渦巻きガスケット	80	3.5	タール油	V/#591	6	P/#2603	
213	渦巻きガスケット	100	2	エチレン	V#590	800	V#8590	温度、圧力条件に確認
214	渦巻きガスケット	100	0.5	粗スチレン	日本バルカーV#596	250	日本バルカーV#8596	
215	渦巻きガスケット	100	3	溶剤・温水	V7137	500	V8137	

番号	製品分類 (選択方式)	使用条件		使用していた 製品名	対象数	代替した 製品名	代替化に当たって検討した事項 等	
		温度(°C)	圧力(MPa)					薬液
216	渦巻きガスケット	130	0.3	蒸気、他	V/#596	2,922	V/#8590	メーカーヒアリング、カタログ
217	渦巻きガスケット	130	1	NaOH	#1834	50	#1834NA	2005年度に20個まで、2006年に50個全量代替
218	渦巻きガスケット	140	0.361	蒸気	T/#1836		T/#1836-NA	
219	渦巻きガスケット	140	0.65	硫黄+二硫化炭素	T/#1836		T/#1836-NA	
220	渦巻きガスケット	164	0.6	蒸気	トンボ1834R-ESS	1,100	トンボ1834R-ENA	メーカー代替品使用
221	渦巻きガスケット	200	6	CO2ガス	V#592	100	V#8592	温度、圧力条件確認
222	渦巻きガスケット	200	7	蒸気、ダウサム	V#591	250	V#8591	カタログ値、メーカー試験結果、他工場実績調査
223	渦巻きガスケット	200	1.55	蒸気	T/#1836		T/#1836-NA	
224	渦巻きガスケット	215	2.1	蒸気	T#1834R	50	T#1834RNA	ガスケット係数の差異確認(使用1年後に評価予定)
225	渦巻きガスケット	240	3.2	中圧蒸気	V#596	100	V#8596V	耐熱性
226	渦巻きガスケット	250	2	化学品		200	ボルテックス	
227	渦巻きガスケット	280	0.5	熱油 サ-AS800	T#1834-G	20	T#1834-GR	現状のガスケットをメーカーで分析。メーカーが推奨した物を使用
228	渦巻きガスケット	300	0.3~0.5	溶融塩(HTS)	T/#1834R	20	T/#1834R-NA	耐熱性・耐薬品性・寿命(1年)
229	渦巻きガスケット	300	7	ダウサム	V#591	70	V#8591	カタログ値、メーカー試験結果、他工場実績調査
230	渦巻きガスケット	300	2	ダウサム	V#596	3,860	V#8596	1年の使用実績にて問題なし
231	渦巻きガスケット	310	0.188	ダウサムA	V/#596	213	V/#6596	メーカー提示性能 -200~500°C、29.4MPa
232	渦巻きガスケット	400	14	硫黄ガス	ニチアスT/#1804		ニチアスT/#1804GR	同上
233	渦巻きガスケット	400	30	熱媒体油・圧油	V7137	250	スタイルNO. 2	
234	渦巻きガスケット	450	0.5	熱媒	V#596	930	V#8596	
235	渦巻きガスケット	500	7		ボルテックス	80	NAボルテックスガスケット	
236	渦巻きガスケット	520	1	Nox、ガス安	V#591	50	V#8596	フィールドテストで確認後実機装着
237	渦巻きガスケット	580	0.128	硫黄(ガス)	T/#1838-R		T/#1838-R-GR	
238	渦巻きガスケット	750	0.06	空気	V/#591	10	P/#2603	フランジ部分が放熱して温度が下がり、ガスケットが持つかどうか
239	渦巻きガスケット	750	0.06	空気	V/#591	10	P/#2603	フランジ部分が放熱して温度が下がり、ガスケットが持つかどうか
240	渦巻きガスケット	~200°C	~32K	STM	日本バルカー-V#596	100	日本バルカー-V#8596	
241	渦巻きガスケット	~400°C	~32K	STM	日本バルカー-V#596	30	日本バルカー-V#8596	
242	渦巻きガスケット	<150	2	プロセス液	V#596		V#7596	使用条件に応じて、選定
243	渦巻きガスケット	<200	2		V#596		V#6596	使用条件に応じて、選定
244	渦巻きガスケット	<250	2	STM	V#596		V#8596	使用条件に応じて、選定
245	渦巻きガスケット	0~30	0.5~0.97	液体アンモニア	V#596	380	V#7596	コストUPだが取合ず実績のあるテフロンフイバー製で代替。ノンアスベスト製で実績ある渦巻きガスケットに変更を検討する。
246	渦巻きガスケット	100以下	1.5以下	アルコール類	V596	50	V6596V-EEEV8596V-EEE	
247	渦巻きガスケット	200~300			同上	600	同上	同上
248	渦巻きガスケット	200>	3Mpa>	プロピレン&アンモニア&水	日本バルカー-V#596		日本バルカー-V#8596	
249	渦巻きガスケット	200°C	2.0以下		V#596	15	V#7596	
250	渦巻きガスケット	200°C~	10,20	蒸気	V#596	50	V#8591,V#8596	他に代替品なし
251	渦巻きガスケット	200°C以下	10	蒸気	V#591	200	V#8591	他に代替品なし
252	渦巻きガスケット	200以下	2.0以下	溶剤、ガス、蒸気、ポリマー	バルカ 596	400	バルカ8596	なし 他メーカー製品 トンボ 1834R-NA
253	渦巻きガスケット	260°C以下		H.C 蒸気	アスベストフイバー-ボルテックスガスケット	21,700	ガラスールボルテックスガスケット	
254	渦巻きガスケット	300~400			同上	300	同上	同上
255	渦巻きガスケット	300°C~	20	蒸気	V#596	30	V#8596	他に代替品なし
256	渦巻きガスケット	300°C以下			V/#590 T/#1834		V#8590 T/#1834NA	
257	渦巻きガスケット	300以下	2.0以下	ベンゼン、熱媒油系	バルカ 596	100	バルカ6596	なし 他メーカー製品 トンボ 1834R-GR
258	渦巻きガスケット	35~152	0.2~1.38	ブタジエン、ブテン	#596	2,500	#8596	使用実績など
259	渦巻きガスケット	400°C~	20	蒸気	V#596	20	V#8596	他に代替品なし
260	渦巻きガスケット	400ika	2.94ika	蒸気、酢酸	V/#596、T/#1834	670	V/#6590	プラントで代替品のテスト実施し耐久性が確認できた

番号	製品分類 (選択方式)	使用条件			使用していた 製品名	対象数	代替した 製品名	代替化に当たって検討した事項等
		温度(°C)	圧力(MPa)	薬液				
261	渦巻きガスケット	400以下	6.3	油、蒸気、ガス	v#591	5	v#8591	温度検討、型式同じでノンアスタイク選定
262	渦巻きガスケット	400以下	6.3	油、蒸気、ガス	V/#591	5	V/#8591	温度検討、型式同じでノンアスタイク選定
263	渦巻きガスケット	400以上	6.3	油、蒸気、ガス	v#596	5	v#8596	温度検討、型式同じでノンアスタイク選定
264	渦巻きガスケット	400以上	6.3	油、蒸気、ガス	V/#596	5	V/#8596	温度検討、型式同じでノンアスタイク選定
265	渦巻きガスケット	全温度	全圧力	各種	T/#1834R等	全数	T/#1834R-GR等	アスベスト製品製造中止に伴いメーカーの推奨品に取り替えた
266	渦巻きガスケット	全温度	全圧力	各種	T/#1834R等	全数	T/#1834R-GR等	アスベスト製品製造中止に伴いメーカーの推奨品に取り替えた
267	渦巻きガスケット	全温度	全圧力	各種	V/#596	全数	V/#8596	アスベスト製品製造中止に伴いメーカーの推奨品に取り替えた
268	渦巻きガスケット					4		予備品を代替材に変更。石綿製品は廃棄済み。(巻)
269	渦巻きガスケット			水、ガス、オイル	V591		V6591V-BEE	
	渦巻きガスケット					39,346		
270	回転軸シール材	10	0.1	水	ニチアスNo.3305	10	ビラーNo.#6501L	
271	回転軸シール材	20	0.4	スチレン等	ニチアスT#9075		ニチアスT#9077-L	
272	回転軸シール材	30	0.3	酸・アルカリ液	石綿紐	8	V#7233	
273	回転軸シール材	30	0.3	工業用水	T#9078	2	T#9038	ポンプ軸周速度
274	回転軸シール材	30	0.2	水	バルカ133トンボ3300	50	バルカ6232トンボ9039	寿命・価格・作業取り扱い性・シール性(機能)
275	回転軸シール材	40	0.29	紙原料、白水	V#7137	100	T#9040	メーカー代替品に準拠した
276	回転軸シール材	50	0.01	水	T#9078	8	T#9036	1年の使用実績では問題なし
277	回転軸シール材	50	0.3	酸性液	バルカ	150	コアテックス品を検討	代替可能か今期定修で一部に使用、テストする。
278	回転軸シール材	50	0.5	蒸気・水	バルカ7137トンボ9075F	10	バルカー8132・8137	寿命・価格・作業取り扱い性・シール性(機能)
279	回転軸シール材	50	0.02	メタノール	バルカ7137トンボ9075F	540	バルカー8132・8137	寿命・価格・作業取り扱い性・シール性(機能)
280	回転軸シール材	50	0.5	水・薬液	V#133	21	V#7201	
281	回転軸シール材	60	0.3	有機物スラリー液	バルカー #7132	1	ポンプメーカー指定	
282	回転軸シール材	60	0.3	有機物スラリー液	日本ビラー#4503L	1	ポンプメーカー指定	
283	回転軸シール材	90	0.2	珪酸曹達	トムヒート		メカニカルシール	石綿代替化 漏洩防止 取替え工数の低減
284	回転軸シール材	90	0.2	珪酸曹達	トムヒート		グランドレスポンプ	石綿代替化 漏洩防止 取替え工数の低減
285	回転軸シール材	95	0.29	水、排水、温水	V#1134T#3300	100	T#9038	メーカー代替品に準拠した
286	回転軸シール材	100	0.5	水	7132 or 7133	9	バルカー#6201	寿命、作業性、費用などの保守性
287	回転軸シール材	100	3	溶剤・温水	V7137	500	V8137	
288	回転軸シール材	150	0.3	樹脂	V#7132	20	アラミッド系	
289	回転軸シール材	150	0.5	蒸気、温水		1	アラミッドファイバーパッキン	
290	回転軸シール材	200	1	ポリスチレン	ニチアスT#9075		ニチアスT#9077-L	
291	回転軸シール材	200	1	蒸気	V#7132	54	総和/ニアス/#5250	代替えしたが、短命のため別製品検討中。
292	回転軸シール材	200	0.45	水、酸液、溶剤	—		T/#9039	特別検討する事項無し
293	回転軸シール材	200		溶剤、他	#7132、#7137	5	#6201,#7201	耐久性と高温使用に適した物(今後も検討を要す)
294	回転軸シール材	260		排水・冷却水	橋工業4004F		ニチアス9040,9038	耐熱温度は問題無し。
295	回転軸シール材	260	一番大き	水、珪酸ソーダ	トンボ#2300、#3300		トンボ#9000番代	特に無いが、業者に薦められたので。
296	回転軸シール材	260	1		バルカー7132	50	PAN系炭素繊維	摩擦、使いかた
297	回転軸シール材	350		水	日本バルカー1290		バルカーNo.6201	試験的に使用して機能・耐久性に優れていることが確認できた。
298	回転軸シール材	400	30	熱媒体油・圧油	V7137	250	スタイルNO. 2	
299	回転軸シール材	0~50	0.1	反応ガス	V#7137	20	T#9038	耐久性・シール性

番号	製品分類 (選択方式)	使用条件			使用していた 製品名	対象数	代替した 製品名	代替化に当たって検討した事項等
		温度(°C)	圧力(MPa)	薬液				
300	回転軸シール材	100以下	1.0以下	水系	ピラー4513S等	30	ピラー4500	なし 他メーカー製品 チェスタートン1730
301	回転軸シール材	200°C以下		攪拌機、ポンプ	T/#9078		T/#9040W	
302	回転軸シール材	260°C	0.01以下		V#7132	12	V#7232	
303	回転軸シール材	260°C以下	1MPa以下	排水 用役	テフロンアスベストブレードパッキン	130	テフロンカーボンファイバーパッキン	
304	回転軸シール材	260°C以下			T/#9075		V/#7262	
305	回転軸シール材	260°C以下	—	—	日本バルカー No.7137	5	日本バルカーNo.7262	必要シール性を有した汎用品
306	回転軸シール材	260°C以下	0.5	水、原料など	T/#9075	10	T/#9036 T/#9039	
307	回転軸シール材	260以下		水、油、蒸気、空気	v#7132.37他	5	1730PTFE..477-1	チェスタートン用
308	回転軸シール材	260以下		水、油、蒸気、空気	V#7132.37他	5	1730PTFE..477-1	チェスタートン用
309	回転軸シール材	常温	3	水	リケルDIALON3534	5	リケルAROLAN2	特に無し
310	回転軸シール材	常温	2		V#7137等		#1730(チェスタートン)	
311	回転軸シール材				T/#9075	20	T/#9077-L	メーカー代替品使用
312	回転軸シール材				T#3300	800	T#2940	代替化に伴い実績評価に基づき採用
	回転軸シール材					2,932		
313	蒸気用パッキン	160	0.6	蒸気	V-1500#		V-6502#	耐熱温度
314	伸縮継ぎ手	400	常圧		コネクター	4	セフティテックス	
315	石綿リボン、テープ	100	0.05	無機粉体	石綿リボン・テープ	50	ガラス繊維	耐温度、絶縁性、強度及び形状品質面。
316	石綿リボン、テープ	120		蒸気、蒸気ドレン			T#8401	インサルテックステープ 550°Cまで使用可能(ガラステープ)
317	石綿リボン、テープ	120		蒸気	石綿リボン		アルミ付きガラスリボン	低温用で性能は問題なし。
318	石綿リボン、テープ	130	0.4	水蒸気	ニチアスアスベストテープ	2	ユニチカガラスクロステープ	04年に実施完了
319	石綿リボン、テープ	200				10		特に無し
320	石綿リボン、テープ	250			バルカー-V/#112	20	V/#112C	
321	石綿リボン、テープ	300	0.05	無機粉体	石綿リボン・テープ	300	ガラス繊維	耐温度、絶縁性、強度及び形状品質面。
322	石綿リボン、テープ	400	-0.3	排ガス	石綿リボン		トンボT/#8401インサルテックステープ	同上
323	石綿リボン、テープ	450	大気圧		石綿	20	シリガラス	今期電気加熱炉更新済み・代替品耐熱再調査確認中
324	石綿リボン、テープ	100~200	0	蒸気	バルカ112	30	ガラスリボン	耐用温度の検証等
325	石綿リボン、テープ	100°C			石綿リボン		ガラステープ	
326	石綿リボン、テープ				石綿	200	インサルテックス	代替化に伴い実績評価に基づき採用
327	石綿糸、紐	30	0.003	空気	バルカーヤーン101	15	ゴアテックス・JPジョイントシース	寿命・価格・性能
328	石綿糸、紐	150			不明		ニチアス 9057	耐熱温度は問題無し。(排煙ダクト用)
329	石綿糸、紐	400	-0.3	排ガス	石綿ヤーン		トンボT/#8402インサルテックスヤーン	同上
330	石綿糸、紐	100以下	0.1以下	排ガス、エア	ヤーンロープ	20	ピラー3300	なし 他メーカー製品 トンボ 9096
331	石綿糸、紐	300~460			? (詳細不明)	1	SCロープ3450	耐熱温度が現状を満足するか? 引張の強度が適当か?
332	石綿糸、紐	800°C	—	—	日本バルカー No.112S	5		今年度中に選定する
333	石綿糸、紐				石綿	100	インサルテックス	代替化に伴い実績評価に基づき採用
334	石綿被服				APコネクタ(石綿)	10	APコネクタ(ノンアス)	温度検討、ノンアスタイプ選定
335	石綿布	300	0.05	無機粉体	石綿パッキン	200	ガラス繊維	耐温度、絶縁性、強度及び形状品質面。

番号	製品分類 (選択方式)	使用条件			使用していた 製品名	対象数	代替した 製品名	代替化に当たって検討した事項 等
		温度(°C)	圧力(MPa)	薬液				
336	石綿布	550		空気		4	九州日昌(TOMBO)ファインフレックス紡織品	実績を積むため昨年より使用開始現在問題ない事を確認している。
337	石綿布	100°C				2	鉄板で熱遮蔽	
338	石綿布				4AG		NA(耐熱ガラス)	耐熱性・耐摩耗性についてチェック。使用可能な見込み。
339	断熱テープ	60°C以下		蒸気配管等	石綿テープ		ガラスクロステープ	
340	配管保温材	200	0	溶剤・温水・蒸気	グラスウール	90	グラスウール	
341	配管保温材	400	0	熱媒体油	ロックウール	30	ロックウール	
342	保温、断熱材				ケイ酸カルシウム	70	ASK.NO7618	同主材でノンアスタップ。温度、断熱効率検討し、選定